

様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	おひさまルーム本町園	
運営法人名称	株式会社ベル企画	
福祉サービスの種別	小規模保育事業	
代表者氏名	園長 高谷 功	
定員（利用人数）	10 名 （6 名）	
事業所所在地	〒 541-0058 大阪府中央区南久宝寺町1-7-10-101号	
電話番号	06 - 6263 - 3207	
FAX番号	06 - 6263 - 3207	
ホームページアドレス	www.poppo-hoikuen.com	
電子メールアドレス	—	
事業開始年月日	2014 年 4 月 1 日	
職員・従業員数※	正規 3 名	非正規 6 名
専門職員※	保育士 4名（内、非正規 4名） 家庭的認定保育者 3名（内、非正規 1名） 家庭的認定補助者 1名（内、非正規 1名） 栄養士 1名	
施設・設備の概要※	[居室]	
	[設備等] 乳児(ほふく)室、保育室、調理室、トイレ(2ヶ所) 沐浴設備、洗面所、倉庫	

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	— 回
前回の受審時期	— 年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

【理念・基本方針】

【保育理念】

「子ども一人ひとりの豊かな心と体の成長」を目指します。

【保育方針】

- ・ 基本的な生活習慣を身につける
- ・ 好きな遊びを十分に楽しみ、遊びを通して友達と関わることを楽しむ
- ・ 安心できる保育士との関わりの中で、自分の意欲や感じたことを素直に表現する

【保育目標】

- ・ 意欲が旺盛な子
- ・ 思いやりがある子
- ・ 判断力がある子
- ・ 丈夫な子

【施設・事業所の特徴的な取組】

1.安全第一をモットーに目の行き届くフロアーで常時4名の保育士が最大10名の子どもを保育している。

ワンフロアだが子ども達はゆったりとできるスペースで遊ぶことが可能で目も行き届き保育者が子ども一人ひとりにしっかり関わる事ができる。

2.歌遊びに力を入れており電子ピアノの伴奏だけでなくギターも使い子どもに近づく興味を引き出せるようにしている。

また手遊びにも力を入れており歌や手遊びで反射神経や判断力を伸ばせるよう力を入れている。

3.都会の中心地にあるが、園庭で春には花を育て夏にはミニトマト等を育て水をあげる事で野菜を好きになり、またカブトムシを卵から育てており、生き物に対する興味を引出し親しみを持てる子どもに育つことを目標に活動している。

【評価機関情報】

第三者評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
大阪府認証番号	270012
評価実施期間	令和元年8月2日～令和2年3月25日
評価決定年月日	令和2年3月25日
評価調査者(役割)	1701C029 (運営管理委員) 1401C047 (運営管理・専門職委員) () () ()

【総評】

◆評価機関総合コメント

・株式会社ベル企画（法人）は、大阪北部を中心に「まごころ保育のポップ保育園」として10ヶ所の地域密着認可保育園を運営している。おひさまルーム本町園（当園）は、その一つであるが、唯一都会の中心地で「おひさまルーム」の名称で運営している開設7年目の小規模認可保育園で、10階建て商業ビルの1階の比較的広いワンフロアと裏庭を利用して、常時4名の保育者が現在9名の子どもの保育を行っている。

・都心にある当園の近隣周辺は商店街、商業ビルと近年急速に林立しつつあるマンション等が混在した地域で、若い世代が流入した結果、増えた待機児童を解消するための政策に伴い、競合する小規模保育園が多く開設されている地域でもある。都心でありながら、近隣には3つの公園、由緒ある神社や人形・玩具の間屋街等があり、子どもの散歩コースに利用できる立地にある。

・当園では、競合の激しい環境の中で安定した運営を継続するための独自手法を取り入れている。昨年5月に室内設備の大巾リニューアル実施や園長が弾くギターを活用した歌遊びや手遊び等、子どもの反射神経や判断力を伸ばす保育に注力している。また、狭いが裏庭を利用し、花を種から育てたり、水やりを行いながらミニトマトを育て給食に利用したり、カブトムシを卵から育てる過程を観察している。自然を感じながら生き物を育てる事に興味を持ち、情操豊かな保育にも心掛け、他園との差別化に努力している。

・園長や保育士、家庭的認定保育者や栄養士の職員9名が、ゆとりをもって子ども一人ひとりにしっかり関わる保育に努め保護者から安心と信頼を得ている。送迎時の保護者からの聞き取りや穏やかで安心した保護者の顔つき、さらには評価機関によるアンケートの回答からも十分伺える。

◆特に評価の高い点

・9名の子どもに対し、園長、保育士、家庭的認定保育者、栄養士等9名の職員が、ゆとりをもって子ども一人ひとりに丁寧な保育を行っており、小規模保育園の特徴が良く活かされている。

・日常の公園、由緒ある神社や興味津々の商店街等への散歩、ハロウィンでのご近所との交流、電車に乗って出かける動物園等への遠足や夏祭り、クリスマス等保護者も参加してのイベントには、園長を始め保育者全員が一致協力し、時には法人から人の派遣も得て行うなど、子どもの興味を引く工夫と安全確保の配慮が随所にみられる。

・ギターが得意の園長のキャラクターや職員の個性を活かした歌遊びや手遊びで、子どもの興味を引き付け、子どもの反射神経や判断力を伸ばすユニークな保育を実践している。

◆改善を求められる点

・文書やマニュアルは一応整備されているが、書類の一貫したファイル方法や書類の様式統一などにおいて改善の余地が見られ、これらを改善することで、事務の無駄を減らすことが可能と思われる。法人本部を巻き込んで、書類に関わる改善や工夫を行うことで、より多く子どもと向き合う時間が生じるものと期待できる。

・事業計画において中長期のビジョンの確立と、年度ごとの数値目標と具体的な取組成果を明確にすることで客観的な評価を可能とし、職員にとり当園や個人目標に対する客観的かつ納得できる評価（振り返り）に繋がることか期待できる。

・向こう三軒両隣をはじめ地域との交流をより深めることで、地域における当園の存在感を高め、日常や非常時においても近隣との相互連携できる体制づくりが望まれる。そのためにも地域の民生委員や児童委員や各種関連団体との交流を深めることが望まれる。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第3者外部評価受審をして、法人本部として書類の改善、年度ごとの具体的な取り組み成果を明確にすること、中長期計画について職員の評価を客観的に出来るものにすることを検討改善します。

職員それぞれが持っている特技を活かした保育を十分に発揮しながら、地域との交流を深め日常や非常時においても近隣との相互連携できる体制を整備していきたいと思えます。今後も、常に見直しを行い新しいものに改善していきたいと思えます。以上、第3者外部評価受審をして大変有意義でした。

◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

		評価結果
I-1 理念・基本方針		
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人及び当園の保育理念（子ども一人ひとりの豊かな心と体の成長を目指します）と目標は、当園のパンフレットに記載され、保育方針は、理念、目標と共に全体計画書の中に明記されており、園長が職員（保育士、家庭的認定職員及び補助者、栄養士）には職員会議やミーティングにおいて周知することで保育の実践に活かしている。 ・理念等は当園玄関に掲げられており、パンフレットも置かれている。また、年2回保護者の参観日にも理念や基本方針を伝え、保護者への周知を図っている。

		評価結果
I-2 経営状況の把握		
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の事業環境は、待機児童解消のため当園周辺に小規模保育所が近年急速に増加した結果、当園との競合が激化し定員維持にかなりの努力が必要となっており、保育ニーズの変化等の把握や当園の特色をアピールする方策の検討に努めている。 ・保育事業全般に関わる国や大阪市の動向を、大局的に把握し必要な具体策への反映が望まれる。日頃から法人を通して国の政策情報の入手や当園独自で区役所等から市の最新情報の入手に努め、分析する事が期待される。
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今、新規開設の小規模保育園に対抗するため、当園施設の大巾リニューアルを法人役員の理解を得て昨年5月に実施し、環境面での整備を行った。 ・区役所の「保活応援ひろば」にブースを出展、当園の保育の特色を打ち出すことで、現在保活中や今後保活予定の保護者に向けPRを行った。一方、経費面でも、備品、消耗品、食材等の購入ノートを定期的に点検し、無駄をなくす努力を継続している。 ・定員を充足するため、今後あらゆる機会を捉え当園の特色ある保育サービスを積極的にPRするほか、収支面では行政の支援策（大阪市の人件費補助等）活用の検討が望まれる。

		評価結果
I-3 事業計画の策定		
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は2017年から始まる3ヶ年計画の最終年度にあたる。計画には、現状分析、ビジョンや方策が記載されているが、10行程度の少ない記述にとどまっているので、今後は、中長期計画として明確なビジョンのもとに数値目標や具体的な成果等を設定することで、実施状況の評価が客観的に行える内容とすることを期待したい。 	
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・単年度計画については、4頁にわたり各項目が丁寧に網羅されているものの、数値目標や各項目における達成基準について、客観的な評価を行うには不十分といえる。今後、中長期目標と同じく、数値目標や具体的な成果等を設定することで、実施状況の評価が客観的に行える内容とすることを期待したい。 	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は、職員も参画して作成した計画で、定期的に見直しを行い必要に応じ適宜修正を加えている。今年度は、定員10名に対し4月時点で6名と低調なスタートで始まったが、11月時点で9名に増え、ほぼ計画通りの進捗と認識している。 ・当園で云う事業計画は、主として当園の特色である歌遊びや手遊びを職員によりよく理解してもらい、それを内外にアピールすることで児童数を定員一杯まで増やすことに重点を置いていることが特徴と云える。 ・定員10名の小規模保育園で、ゆとりのある保育を実践しており、保護者も現状にほぼ満足していることが、評価機関によるアンケート回答からも伺える。 	
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の主な内容は、保護者が集まる年2回のイベント（夏祭り、クリスマス）開催時に園長から資料を基に分かりやすく説明し保護者の理解を得ている。 ・事業計画の説明に当たっては、当園の保育の特色であるギターなどの楽器を弾き、歌遊びや手遊び体験してもらい、これらの遊びが子どもの知育に繋がって行くことや施設設備等の環境整備に努めている事など直接感じてもらっている。 	

		評価結果
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・当園の保育の質については、毎年1回独自のチェックシートを使って総合的な自己採点を行い、職員全体による評価を実施している。 ・自己評価結果については、職員会議で分析し保育の質の向上に活かしている。 ・今回の第三者評価受審による結果を入手した段階で、改善等の指摘があれば保育の質の向上に活かしたい、また保護者アンケート回答も大いに気になるとの園長発言があった。受審結果を活かし保育の質の一層の向上を期待したい。 	

9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回のチェックシートを使った総合的な自己評価については、職員会議での分析を経て職員で共有している。分析の結果、判明した当園のウィークポイント等については計画的に改善に努める事になっている。 ・改善の実施状況を都度（年3回）評価を行い、必要に応じ改善計画の見直しを行っている。 ・自己評価、職員会議での分析、改善計画及び計画の進捗状況等一連の活動を整備し記録しておくことが望まれる。 	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

			評価結果
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ			
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を込めている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長（園長）は当園の経営と管理に関する方針と取組につき明確にしており、園長の役割と責任は、職員分担表に明示している。また、職員会議等において自らそのことを表明し、職員に周知している。 ・災害時等の有事における園長不在時の権限委任については、災害マニュアル等において明確にされている。 	
11	Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、関連法令の遵守や行政の指示等を忠実に履行し、行政関係者等と良好な関係を保持している。また、園長は、必要に応じ法人や私保連（大阪市私立保育連盟）等の法令遵守に関わる研修会にも参加している。 ・園長は節水や節電、ゴミの削減等環境に配慮した取組を職員と共に実践している。また、環境の他にも、就業規則や運営規程に記載された各種法令（福祉、雇用・労務、防災、安全衛生など）についても、職員と共に具体的な取組を実施している。 	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は日常保育に参加し、保育に関わる当園の改善点に気が付けば、職員に伝え保育の質の向上に反映させている。また、歌遊びには園長自らギターを抱え、子どもに近づき、子どもの興味を引き出し活性化することで保育の質の向上を図っている。 ・保育中や個人面接等における職員の意見や提案は、職員会議等で話し合い保育の質の向上に反映させている。具体的には、ほふくスペースを柵で囲うなどの工夫により保育の質の向上が実現したケースなど数多くの実例がある。 ・保育の質の向上には職員個々の知識や技量アップが不可欠で、そのために内外の研修に参加する事を積極的に奨励している。 	

13	II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、職員とのコミュニケーションを密にし、個々の事情に配慮した勤務シフトや適材適所の配置を心掛ける事で、職員が働きやすい環境の整備を図っている。 ・散歩など園外での子どもの動きや交通事情など安全に関わる状況を、園長自らが定期的にチェックし、子どもの安全を第一に考えた保育活動を職員に指示している。 ・本部から支給される小口現金については、当園に必要な物品の計画的な購入に充て、月末には収支をチェックする事で、無駄な出費を減らす工夫をしている。 	

			評価結果
--	--	--	-------------

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保は、法人の専権事項となっているが、当園は卒園や入園に伴う保育人員の増減を予測し、計画的に必要な職員の確保を法人に伝えている。現在は9人の職員が配置されており、ゆとりをもった保育実践には充足した職員数といえる。 ・職員の専門性、能力や勤務の希望を確認し、適材適所の配置を行っている。また正職員とパートとの相互の補完関係やコミュニケーションも良好で、利用者や保護者も安心と信頼を感じている。 	

15	II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人事基準（採用、就業場所、異動やその他基準）は、法人の就業規則に明示され、人事評価表による職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度についての目標管理制度が構築され、ともに職員に周知され、総合的な人事管理が行われている。 ・さらに法人の保育理念や方針に基づく「期待する職員像等」を職員に明確に示すことが期待される。また、職員が法人の中で将来の自分の姿を描くことができるキャリアパス制度の導入も期待される。 	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の就業状況等は法人の就業規則に則り行われており、必要があれば園長が法人に報告する事になっている。 ・有休の取得やシフトの組み合わせは、職員の意見や意向をよく聞いたうえで行っており、ワーク・ライフ・バランスに配慮した無理のない職場環境を整備している。また、法人の福利厚生制度の利用も可能である。 ・人材の確保については専ら法人が担当しているが、就職希望者の見学は当園でも柔軟に受け入れており、働きやすさなどを説明しながら理解を深めてもらい、人材確保に繋げている。 	

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々の目標管理は、年度初めに目標を設定し、年3回（6/12/3月）の進捗状況を基に、チェックリストを使って振り返りを行い、改善点をその後の保育に活かす仕組みにしている。 ・園長の間接面接による評価があり、ここで設定した目標に対する進捗度が明確になる仕組みにしている。 ・法人の保育理念や方針に基づく「期待する職員像等」を職員に明確に示すことが期待される。 	

18	II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人本部にて年間の研修計画を策定、実施しており、当園からは職員が必要な研修を計画的に受講している。 ・当園での保育に不可欠な資格（家庭的認定職員及び補助者）を、大阪市の研修（計5週間）に参加し取得している。なお、当園では職員が取得しやすいよう全面支援している。 ・法人の保育理念や方針に基づく「期待する職員像等」を職員に明確に示すことが期待される。 	
19	II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々の専門資格、研修受講状況等はファイルで管理している。 ・法人の年間研修計画や外部研修については職員に案内を行い、必要な研修の受講を積極的に推奨し、職員のスキルアップの機会を確保している。 ・新任を含めた職員が研修を受けやすい環境整備、例えばシフトに基づいて無理のない時間調整を行うなどに努めている。 	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	II-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市からの保育実習生は、年間3～4人（実習期間2日）受入れている。 ・保育実習生には、イラストや写真を多用するプログラムを用意し、短期間で保育の知識を習得し易いように工夫している。 ・実習生の受け入れ体制のマニュアル作成を期待したい。 	

			評価結果
II-3 運営の透明性の確保			
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
21	II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用し、法人及び当園の保育理念、保育方針や保育内容等の情報公開を行っている。今後は、さらに事業計画、事業報告、苦情・相談の体制や内容についても公開されることを期待したい。 ・区役所に当園のパンフレットを置くとともに、「保活応援ひろば」に当園のブースを出展することで、地域や関係者に当園の保育の特色など知ってもらう情報公開を行っている。 	
22	II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・当園の事務、経理や取引に関するルールは明確にされており、法人本部の定期的な監査も実施されている。 ・大阪市の指導監査を毎年受けており、その際に同行する専門家の助言も得ている。 ・小口を含む現金の取り扱いや会計は、小規模保育園のため、職務分担表に基づき園長が現金の出納と会計を兼任しているが、会計書類は毎月法人に提出しチェックを受ける事で公正さを担保している。 ・予算や決算報告等は可能な範囲でHPでの公開が望ましい。 	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

23	Ⅱ-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域に根差した保育」を法人のモットーの一つとして明示しており、地域で活用可能な社会施設や地域情報については、区役所の「子育て情報マップ」を当園の玄関に掲示する事で、子育て情報などを保護者の参考にしてもらっている。 ・近隣との交流の一例として、商店主にハロウィン行事に協力してもらい、子ども達が行列を作り各商店を訪れた際に、当園が予め預けておいたお菓子を子ども達に配ってもらうなどの実例がある。 ・ハロウィンの例を除いては地域との交流がまだ少なく、今後は園側から積極的に働きかけ、地域との交流の取り組みを期待したい。 	
24	Ⅱ-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受入マニュアル等は整備しているが、実際の受入実績はない。 ・今後は、区役所、地域社協や図書館を活用したボランティアの積極的な受入れ検討をを期待したい。 	

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25	Ⅱ-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に区役所の「子育て情報マップ」を掲示しており、子育て支援施設等の生活に役立つ情報をリスト化したものが、いつでも見れるようにしている。 ・職員も社会資源リストを共有しており、必要な連絡先は室内の目につく場所に掲示する事で、いつでも誰でも迅速に連絡できるよう整備されている。 ・児童相談所(児相)とは不定期だが連絡を取っており、児相と虐待等の問題発生時には連絡、相談できる体制にある。今後は、児相、民生委員、児童委員や各種地域協議会などネットワークに参画しておくことが望ましい。 	

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	Ⅱ-4-(3)-①	保育所が有する機能を地域に還元している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・当園の裏庭(園庭)の植木にマンション管理人による水やりを依頼するなど近隣との交流を行っている。 ・子ども達のハロウィン行事等で、近隣住民との交流を図っている。また、子ども達が近隣のおもちゃ屋を見学したり、子どもが喜ぶおもちゃの情報交換をしている。 ・小規模保育園であるため当園を利用して講演会等行う事には制約が多いが、今後歌遊びや手遊びなどを活用した行事を検討したい意向を持っている。今後、地域の民生委員や児童委員と交流を深め、地域ニーズを把握することが望まれる。 	
27	Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所主催の「保活応援ひろば」に出展することで、地域住民に当園の存在をPRし、地域との交流に繋げている。 ・市の保育支援員が月2回来園しており、他園の状況を聞いて参考にしている。今後は、支援員を通して地域のニーズの把握に努めたいと考えており、実践が望まれる。 ・連携保育園と定期交流しており、互いに刺激を受け地域保育の活性化に努めている。 	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・理念及び運営規程の中に、子どもを尊重した保育についての記載があり、職員はその共通認識のもと保育の実践に当たっている。また、職員は理念や運営規程に沿った保育を自らが実践しているかどうか、年3回自身で振り返り（自己評価）を行い、日々の保育の取り組みに活かしている。 ・子どもが互いに相手を尊重する心を育てる取り組みとして、友だちから何かをもらった時「ありがとう」を意識してと言えるよう指導している。 ・子ども一人ひとりが互いの生活習慣や人権を尊重する心を持つ保育を実践していることを、保護者との交流会で伝え保護者への理解を図っている。
29	Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー保護マニュアルが整備され、全職員がプライバシー保護に細心の注意を払っている。また、トイレに扉を設置するなど子どものプライバシーを守るよう設備等の整備を行っている。虐待防止マニュアルも整備され、全職員がマニュアルに基づいた虐待防止に努めている。 ・玄関に閲覧可能な当園の運営規程や入園時保護者に手渡す重要事項説明書にプライバシー保護や権利擁護に関する事項を明記するなど、保護者への周知を徹底している。 ・不適切な事案が発生した場合には、各種マニュアルに基づいて迅速適切に対応できる体制が出来ている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔で分かり易い当園のパンフレットが区役所（保健福祉課）に置かれている。また、昨年7月には区役所主催の「保活応援ひろば」に当園のブースを出展、当園の保育の特色などの情報を、保育園の利用希望者に向け積極的にPRを行った。 ・見学希望者には、設定日時に来園願い、丁寧に説明や質問に対応している。 ・ホームページに当園の説明や日常の保育状況など豊富な写真と説明を掲載し、保護者に好評を得ており、利用希望者にとっても大いに参考となる情報と思われる。
31	Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時には、入園のしおりや重要事項説明書で十分な説明を行い、保護者等の意向を確認のうえ書面による同意を取り付けている。入園のしおりや重要事項説明書には必要事項が網羅されており、文字の大きさも適切で理解し易く作成されている。 ・昨年5月の施設のリニューアルに当たっては、保護者等に事前説明を行った。 ・特に配慮が必要な保護者等には、別途時間を取り相手目線での丁寧な説明を心掛けている。

32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・当園からの転園に際しては、保育の継続性の観点から引継ぎ書類を定めているが、これまで相手側からの要請はなかったとのことである。今後は、卒園後の連携保育園への保育の引継ぎも含め、手順書と引継ぎ文書を整備しておくことが望まれる。 ・当園の利用終了後も、園長が窓口となって何時でも連絡が出来る様保護者等に口頭で伝えている。今後は、口頭だけでなく手紙等の文書にて手渡す事が望まれる。 	
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・園長はじめ全職員が、子ども一人ひとりと向き合い保育する中で、子どもの満足度の把握に努めている。保護者に対しては、お迎え時にその日の子どもの様子を伝え、保護者の要望や相談を聞くなかで、利用者満足の上役に役立っている。また、年2回の保護者との全体懇談も、利用者満足を確認する良い機会と捉えている。 ・現在、保護者から込み入った相談があった場合は丁寧にに対応しているが、保護者に対し個別の懇談会の開催が望まれる。調査機関によるアンケートにも、保護者から子どもの毎年の成長を知りたい旨の意見が寄せられている。 	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決の仕組みが整備され、保護者からの思いに丁寧にに対応しており、職員による話し合いが行われている。 ・第三者委員を選任して、4月より活動してもらう旨の報告があり、苦情処理に関する保育園の取り組みの姿勢が確認できた。 ・今後は、アンケートの実施や、苦情解決の内容を申し出た保護者が特定できないように加工した上で、ホームページに掲載し、苦情解決の仕組みの明示を深化されたい。 	
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・園児数が9名と少数で登園も降園時間も送迎が重なることなく、保護者と密に話ができている。その際に出てきたことを職員間で話し合い、保護者に誠実な返答ができるように努めている。 ・保護者の相談内容に応じて、土曜日にするなど日時の調整を行い、話しやすい場を確保して行っている。 ・保護者への情報提供を密に行い、目に付きやすい所に掲示するなど方策を講じている。 	
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の相談等についての手順書を整備し、職員が誰でも対応できるように整備している。それをもとに、迅速な対応ができるよう午睡時などを活用して、話し合いの場を作り、保護者に返事を行える信頼関係の構築に努めている。 ・同系列の保育園で実施されているように、連絡ノートを手渡しで受け取り、記載されている内容を保護者とともに確認し、より迅速な対応ができるような取り組みを期待する。 	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
37	Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルが整備され、リスクマネジメントの体制は構築されている。また、責任者は園長であると明記されている。 ・事故報告の対象となる案件は発生していないが、ヒヤリハット集に記載され、対応策も記入されている。ただし、同じヒヤリハット報告があり、再発防止に至っていない点は今後の課題として真摯に受け止められたい。 ・マニュアルは、今後、安全の項目、避難訓練等、項目別に整理した形で策定されることを望む。 	
38	Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防のための体制は整備され、遊具の消毒や清掃について徹底した対応が行われている。 ・室内環境を整備・清掃し、換気や湿度・温度等にも配慮し、子どもの体調をしっかりと把握するように努めている。 ・嘱託医と連携し感染症の情報を共有し、対応にあたっている。 ・感染症マニュアルを定期的に見直し、即時性のある対応ができるように努めている。 	
39	Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月避難訓練を実施し、非常持ち出し袋も準備されている。職員の役割分担を明確にした書類も確認できた。 ・緊急時の連絡体制も、保護者に丁寧に知らせていたが、一昨年の地震の際に連絡が取りにくくなったことを踏まえて、今後の対応を検討している。 ・近隣の協力を得て二方向の避難路を確保し、園児の安全の確保に努めている。保存食の備蓄も行っている。 ・危機管理マニュアルや避難訓練の実施計画・職員体制などの書類を見なおし整理し、より活用しやすいものになることを望む。 	

			評価結果
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
40	Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の標準的な実施方法について文書化しており、子どもの尊重やプライバシーにも配慮した内容となっている。 ・保育士間の認識に差異が生じた場合は、職員で話し合いの場を持ち、保育内容の共有化が図れるように努め、見直す体制が構築されている。 ・園内で研修会を実施し、保育士のスキルアップの取り組みを行い、保育の質の向上に努めている。 	
41	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な実施方法を自己評価表と照らし合わせて、見直しを行い、保育の改善に努めている。 ・月々の指導計画の見直しを職員会議等で行い、保護者の思いが反映できるように努めている。 ・研修等で得た知識を園内で共有し、保育に活用できるように、柔軟な対応を心掛けている。 	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの状況を把握し、年齢別に担当者が指導計画を策定している。 ・月ごとの指導計画が立案され、子どもの育ちを記録し、次の月に活かしているが、指導計画が個人別に年間の見通しをもって立案されておらず、個人の育ちが見えやすいように、立案記録を改定されることを望む。 	
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画は、月2回来園の大阪市保育支援指導員の指導助言を受け、各自の自己評価と照らし合わせながら、評価・見直しを行い次月の計画に活かせるよう取り組まれている。 ・指導計画の立案に際し、保護者の思いが反映できるように、情報収集する体制が確立されている。 	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの発達状況を担任が記録し、日々の子どもの姿や遊びの様子は園長が毎日ノートに記載している。 ・記録された内容をもとに職員間で話し合いが行われ、次月の計画に活かされるよう取り組みを進めている。 ・児童原簿に個人の発達の課題や成長の記録が掲載できるように、様式を変更することを望む。 	
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・児童原簿等の記録は、丁寧にとられて、指導計画に活かされるように記録管理されている。 ・個人に関する記録等は鍵のかかるキャビネットに保管され、鍵は園長が保管するなど管理は徹底している。 ・廃棄すべき書類と保管が必要な書類について、法人と情報共有のうえ、対応を統一されることを望む。 	

児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A-1 保育内容		
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・保育課程は、保育所保育指針、保育理念、保育方針の趣旨をとらえ、作成されている。 ・毎月職員と一緒に月ごとに見直しを行い、次月の計画に活かされるよう取り組みを進めている。また、年度末にも見直しを行い、次年度に活かしている。 	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・室内の温度（20度）・湿度50～60%が保てるように、エアコンや加湿器空気清浄機を設置して、調節を行っていた。 ・毎日、清掃当番を決め室内の環境を整えている。遊具のアルコール消毒を行い、寝具は家庭で干してもらい、無理のない管理を行っている。 ・トイレ、手洗い場は子ども専用は一か所しかないが、必要に応じて職員用のトイレや手洗い場も活用して、スムーズな活動に移行できるように取り組んでいる。 ・ちょっとした広さの裏庭（園庭）があり、夏季の水遊びや栽培活動の場としても利用している。 	
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達状況を的確に把握し、日々の保育に活かしている。子どもの年齢に応じた言葉かけを行い、午睡に入りにくい子どもへも抱いてあやしたり、より安心感のある保育者へゆだねたり、子どもの思いを汲み取りながら保育を進めている。 ・必要以上の大きな声での指示もなく、ゆったりと子どものペースに合わせながら保育を進めている。 	
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活リズムを把握し、子どもが自らやりたいという気持ちに寄り添い、生活習慣の確立に向け、手洗い・うがいの習慣形成や、食事への意欲の形成、また、画一でない排せつへのいざないを行えるように計画し、実施している。 ・2歳児から歯磨きの取り組みを行い、歯磨きの習慣形成にをしている。 ・子どもの発達状況を把握したうえで、誘い掛けや促し援助を行っている。 	
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊具を自分で取り出して遊べるように保育室内を構成し、その子に応じた援助で、十分に遊びが楽しめるように時間に余裕を持った活動を展開している。 ・戸外での活動も自然への触れ合いを求めて公園等に出かけたり、その時の天候や諸条件を加味して多様な選択を準備できるようにしたり、公共施設への見学なども取り入れている。 	

A⑥	A-1-(2)-⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児がゆったり遊べるようにサークルを活用してスペースを確保し、発達に応じた遊具を準備し、担当する保育士と信頼関係が結べるようにアイコンタクトや抱っこ、食事の世話や睡眠へのいざないを家庭との緊密な連携の中で進めるように努力している。 ・その子一人ひとりの生活リズムを把握し、保護者と連携する中でスムーズな生活展開ができるよう話をしっかり聞くようにし、保護者へ丁寧に園での姿を伝えている。 	
A⑦	A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は近隣の公園に出かけ、活発な遊びが展開できるように努めている。また、一人ひとりの発達状況を把握し、その子の歩行能力も加味して散歩コースの展開や遊びの工夫を行っている。 ・子どもの思いを組みながら、その子の発達を加味した言葉を選択して、自発性の促しや友達同士のかかわりを保育士が仲立ちしながら進めている。 ・ごっこ遊びも展開できるように保育士が言葉かけして、楽しさが増すように努力している。 	
A⑧	A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	—
	(コメント)	0歳から2歳の保育園であり非該当。	
A⑨	A-1-(2)-⑧	障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもの受け入れ経験はないが、発達を丁寧にみていくことが、障がいを持つ子どもへの援助につながるなどを含めた人権の視点に立った研修が実施されており、体制作りもされていた。 ・今後は入園希望の障がいを持つ子がいた場合、積極的な受け入れが望まれる。 	
A⑩	A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間になる子どもは少ないが、17時30分から保育士が二人体制で保育し、保護者への伝達などは、保育士用の連絡ノートに記載し、伝達漏れや差異が生じないように努めていた。 ・長時間で食事やおやつが必要となる子どもが、現在はいないため補食の準備はしていない。 ・小規模保育園で全体的にゆったりと保育が進められているが、ワンフロアであるためサークルで分けた空間しかない。長時間であるための特別な工夫が望まれる。 	
A⑪	A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	—
	(コメント)	0才から2歳の保育園であり非該当。	
A-1-(3) 健康管理			
A⑫	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理に関するマニュアルのもと、子どもの健康チェックを行い、健康管理を行っている。 ・子どもの元気がない、食欲がないなど健康状態に不安を感じたときは、職員で情報を共有し、子どもへの適切な対応を心掛け、保護者へも伝達できる体制を構築している。 ・乳幼児突然死症候群の研修を職員に行い、5分ごとの睡眠チェックを行い記録している。 ・今後は保護者にも乳幼児突然死症候群について、お手紙や入園前の説明会等でも知らせ注意喚起することが望まれる。 	

A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の内科検診と1回の歯科検診を実施し、健診結果を保護者に知らせ、検診日に欠席の園児には、後日嘱託医で受診し、結果を園に提出している。健診結果は、児童原簿にも記載され、職員も共有して保育にあたっている。 ・内科検診・歯科検診の結果については保護者に書面で伝え、家庭との連携を図る取り組みを行うことが望まれる。 	
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・生卵とキウイフルーツのアレルギー対応を必要とする子どもが1名在園している。食器の変更や席を離すなどの対応を行っている。 ・将来入園する子どもの対策も見据え、安全・安心への対応マニュアルを整備し除去食等の対応等を研修等で理解を深め、併せて家庭との連携を図ることを期待したい。 ・法人のホームページには、アレルギー対応に対して弁当の持参の記載等もあり、今後の対応改善に期待したい。 	
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・食育計画を立案し、裏庭（園庭）での野菜栽培物を給食に取り入れ、食への関心を深めるように計画されている。 ・食事をする場所を区分けしており、ゆっくりと楽しく食事を楽しめるように設定している。 ・一人ひとりの子どもの食事量に応じた食事の提供を行い、苦手な食材は細かくしたり少なくする、また、励ましたり、食事の介助を行うなど工夫して食事が楽しくできるように援助している。 ・食育計画にねらいと配慮を加味した計画の立案と栄養士の積極的な食事の場面への関わり、食材の紹介や給食だよりの発行やレシピの提供などが望まれる。 	
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な食材確保のために近隣のスーパー等で購入し、給食業者が作成する系列園での献立を参考に立案、調理し、安心・安全でおいしい給食を提供している。 ・子どもの嗜好を栄養士や保育士が把握しており、その子の課題に適した対応を心掛けている。 ・衛生管理マニュアルをもとに衛生的に管理された調理室で調理し、安心・安全の給食の提供を行っている。 ・栄養士の日常的な食事や保育場面への参画を計画し、系列園での取り組みを参考に積極的にかかわることが望まれる。 	

		評価結果
A-2 子育て支援		
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の取り組みの中で、保護者との連携を大切にしており、登園時や降園時に保護者とのコミュニケーションを取るよう努めている。 ・年二回夏祭りとクリスマス会を保護者参加で開催し、一緒に楽しむ中で子供の成長を感じ取れるよう取り組み、終了後、保護者と話し合いの機会を持ち、保護者の思いがくみ取れるようにしている。 ・子どもの姿で気になることがあった場合は、保護者に話を聞く機会を設け、改善への糸口になるように努力している ・即時性のある対応ができるように保護者から連絡帳を手渡しで受け取り、その場で確認する手順に代えることや個人懇談の機会を持つことで、保護者と一層の深まりを持つことを期待したい。 	

A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の登園降園の時間に差があるため、保護者と話ができる時間的余裕があり、その機会を活用して、円滑なコミュニケーションが取れるように体制を確保している。 ・少人数で、ゆったりと生活しているため、詳しく子どもの様子を伝えることができており、保護者も相談しやすく感じている。 ・相談内容をきちんと記録に残しており、職員会議や午睡時の打ち合わせの時に職員と共有できるようにしている。 	
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の保育の中で子どもの身体の状態をしっかり把握し、着替えの時や身体測定時には、丁寧に確認している。気になる姿がある子どもには、保護者と話し合う機会を作り、虐待に至らないよう取り組みを進めている。 ・虐待対応についての研修を行うとともにマニュアルをきちんと整理し、今後の対応について、職員と共有できるような仕組みを作られることが望まれる。 	

		評価結果
A-3 保育の質の向上		
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の自己評価表で保育の振り返りを行い、保育実践やスキルアップに役立っている。研修についても、外部の研修も含め積極的に参加できる体制があり、また、園内でも研修を実施し、専門性の向上につなげている。 ・研修内容は、園全体で共有するように取り組みが進められており、園全体での実践に活用されている。 	

		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A㉑	A-4-(1)-① 体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規程に体罰に関する詳しい規定がされ、それに基づいた内部研修等も実施されている。 ・現在の就業規則には体罰禁止の記載がないが、来年度は就業規則に体罰禁止について明記される予定でありその実現が望まれる。 	

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	おひさまルーム本町園を利用中の子どもの保護者
調査対象者数	9名 / 9世帯
調査方法	アンケート調査による。(アンケート用紙は、園に依頼し保護者に受取人払いの封筒を添えて直接手渡し、回収はこども園に設置した回収箱への投入、または郵便で評価機関へ直接返送してもらう方法を使った。)

利用者への聞き取り等の結果(概要)

現在、保育園を利用している子どもの保護者世帯に対し、1世帯1アンケート用紙を配付し、内9通を回収した。回収率は、100%であった。

○回答の内、満足度100%の項目は、

- ・入園前に、あなたの都合や要望にあわせた見学を受け入れてくれましたか。
- ・保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか。
- ・入園時の説明や園の子どもたちの様子を見て、子どもを預けることの不安が軽減しましたか。
- ・入園後も、保育園やクラスの様子などについて、「園だより」、「クラスだより」等を通じて、判りやすく伝えられていますか。
- ・お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。(いいえ)
- ・献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていきますか。
- ・給食のメニューは、充実していますか。
- ・お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡されていますか。
- ・送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか。
- ・懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。

○満足度80%以上の項目は

- ・保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか。
- ・園の保育について、あなたの意見や意向を伝えることができますか。

○自由意見としては

- ・小規模なので他の年の子どもと遊べる。家庭的な保育がなされている。
- ・イベント・行事が充実。
- ・園内が綺麗。アットホームで、園長先生やほかの先生もとても親切で助かっています。
- ・親が保育の様子を見る機会は年2回。親の仕事に負担が少ない。
- ・連絡帳で相談したことを、すぐ回答、対応してくれる。下の子どもこの園で応募した。
- ・1年毎に指導記録表や成長についてお知らせがあると良いです。先生の異動も教えて欲しい。
- ・少人数すぎて、土曜保育や延長保育などが頼みにくい。

以 上

福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等